

お客さまからご支援・ご愛顧を賜り、高い健全性を維持し、収益性を確保しています。
引き続き、安心して末永くご愛顧を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

ソルベンシー・マージン比率

大災害など通常の予測を超えたリスクにも対応できる
支払余力を確保しています。 詳しくは P.9 へ >>>

927.4%

基礎利益

前年同期比 26.6% の増益となりました。 詳しくは P.8 へ >>>

2,201 億円

実質純資産額

財務の健全性を維持していくための純資産額を堅持しています。 詳しくは P.9 へ >>>

6兆293 億円

含み損益(一般勘定資産全体)

堅実な資産内容で3兆円を上回る含み益を確保しています。 詳しくは P.10 へ >>>

3兆1,941 億円

格付

健全な財務内容と高い収益性により、格付会社から高い評価を得ています。

「格付」とは、会社の収益力・財務状況などを、さまざまな角度から総合的に評価し、わかりやすい記号で表わしたものです。

(平成 25 年 11 月 1 日時点)



*「保険金支払能力」は、保険会社の保険債務が約定どおりに履行される確実性についての意見です。「保険財務力格付け」は、保険契約の諸条件に従って支払いを行なう能力に関して保険会社の財務内容を評価した意見です。

* 左記の格付は、当社が依頼して取得したものです。
* 記載の格付会社は、金融庁の登録を受けた信用格付業者です。
* 格付は、個別の保険契約の加入・解約・継続を推奨するものではありません。

* 格付は、左記時点での格付会社の意見であり、将来的に変更・保留・撤回されることがあります。

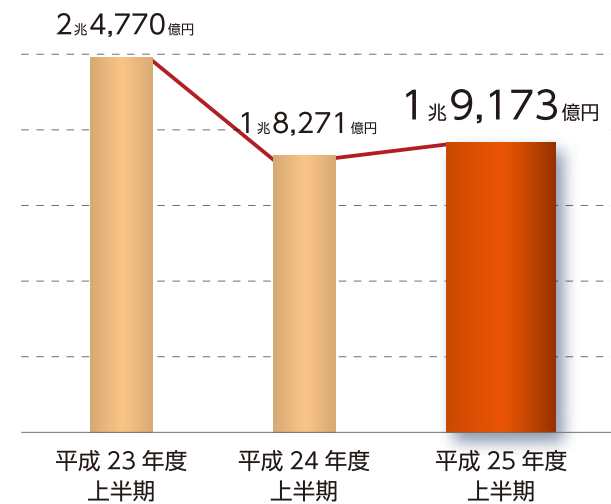
保険料等収入

1兆9,173億円

みなさまにご支持いただき前年同期比4.9%の増収となりました。

保険料等収入とは、ご契約者から払い込まれた保険料による収益で、生命保険会社の収益の大部分を占めています。平成25年度上半期の保険料等収入は、1兆9,173億円(前年同期比4.9%増)となりました。これからもいっそうお客さまにご満足いただける取組みを進め、安定した成長をめざします。

■ 保険料等収入の推移

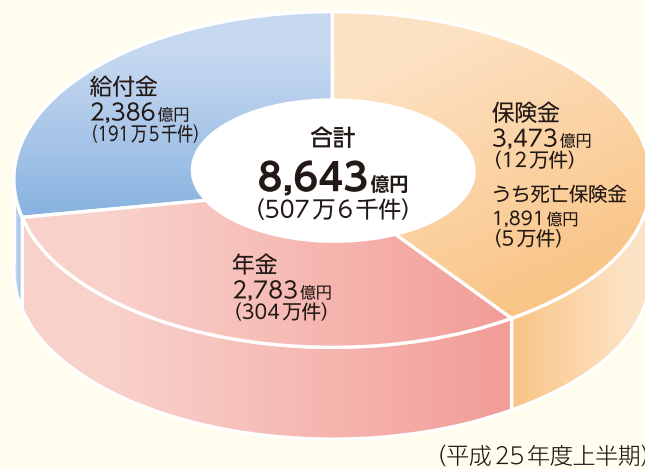


お役に立った保険金・年金・給付金

8,643億円

平成25年度上半期にお支払いした保険金・年金・給付金の合計額は8,643億円でした(1日あたりのお支払いは約47億円)。これからも確実・迅速なお支払いに努め、お客さまのお役に立てるように確かな安心をお届けします。

* 給付金には、入院給付金・手術給付金のほか、ハッピーL.A.ボーナスやお祝金なども含んでいます。



当社では、お支払い業務における重層的なチェック体制やお客さまへの充実したご説明の実施等、お支払いもれやご請求案内もれない支払管理態勢を構築しています。また、「安心サービス活動」を通じて、保険金・給付金などのご請求がないかを確認する等、確かなお支払いに取り組んでいます。詳細については明治安田生命 公式ホームページをご覧ください。

明治安田生命 公式ホームページ ▶▶▶ <http://www.meijiyasuda.co.jp/>

基礎利益

2,201億円

基礎利益は前年同期比26.6%の増益となりました。

基礎利益とは、保険料等収入や保険金・事業費支払等の保険関係の収支と、利息及び配当金等収入を中心とした運用関係の収支からなる、生命保険会社の基礎的な期間損益の状況を表わす指標です。平成25年度上半期の基礎利益は、2,201億円(前年同期比26.6%増)となりました。

* 基礎利益から、有価証券等の売却損益・評価損や、保険財務健全化のための臨時的な費用、税金などを加減した最終的な剰余を、事業年度末決算において定款に従い配当としてご契約者に還元しています。

基礎利益の内訳(三利源)

(単位: 億円)

	平成23年度上半期	平成24年度上半期	平成25年度上半期
基礎利益	1,873	1,739	2,201
費差	197	221	203
危険差	1,603	1,492	1,463
利差	71	26	534

費差 保険料算定時に想定した事業費率に基づく事業費支出予定額と実際の事業費支出額との差額

危険差 保険料算定時に想定した保険事故発生率に基づく保険金・給付金等支払予定額と実際の保険金・給付金等支払額との差額

利差 保険料算定時に想定した利率に基づく予定運用収益と実際の運用収益との差額

基金について

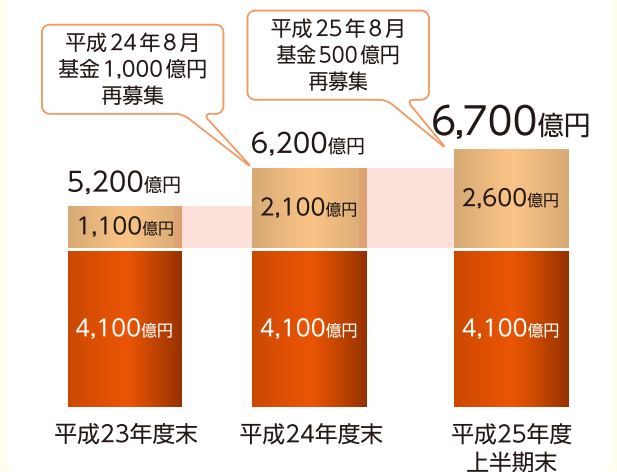
基金の総額は、6,700億円となりました。

基金とは、株式会社の資本金に相当する性格を持つ資金で、相互会社の財産的基礎となるものです。

当社では、平成25年8月に基金500億円の再募集を行っており、基金の総額(基金と基金償却積立金の合計額)は6,700億円となっています。

今後も、保険会社を取り巻くさまざまなリスクに備え、お客さまの保険契約を確実に履行するために、さらに健全性の高い経営基盤の構築に取り組んでいきます。

基金・基金償却積立金の推移



● 基金償却積立金
相互会社が基金を償却する場合に、保険業法の規定により積立金を義務付けられている積立金です。基金の償却額と同額の積立金が義務付けられています。

ソルベンシー・マージン比率

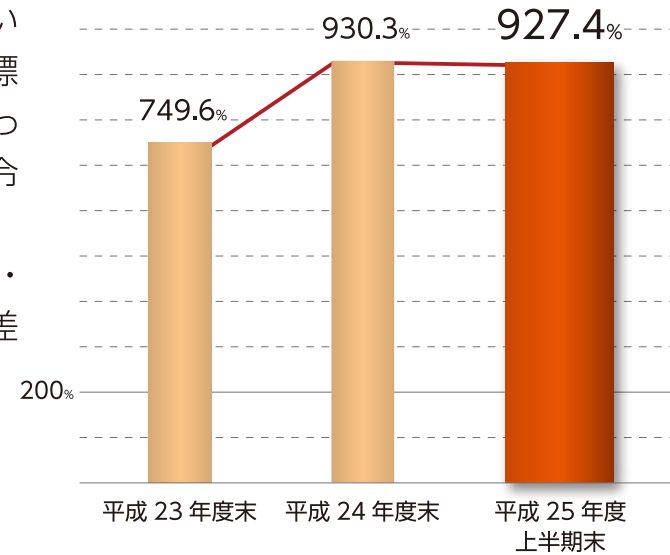
927.4%

通常の予測を超えたリスクにも対応できる支払余力を確保しています。

ソルベンシー・マージン比率とは、株価の暴落など通常の予測を超えて発生するリスクに対応できる「支払余力」を有しているかを判断するための行政監督上の指標の一つです。この数値が200%を下回った場合は、監督当局による業務改善命令等の対象となります。

平成25年度上半期末のソルベンシー・マージン比率は927.4% (前年度末差2.9%減) となりました。

■ ソルベンシー・マージン比率の推移



実質純資産額

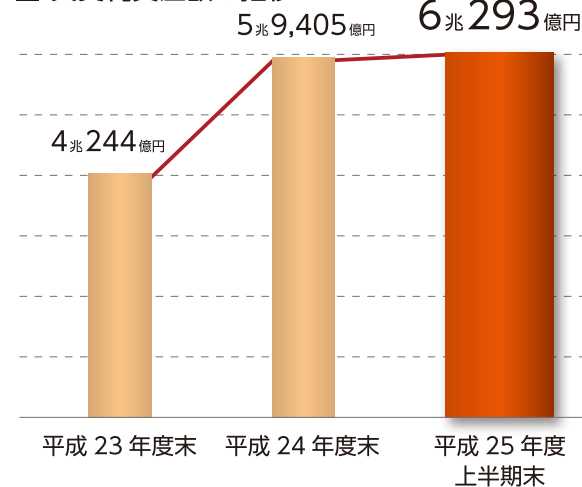
6兆293億円

財務の健全性を維持していくための純資産額を堅持しています。

実質純資産額とは、有価証券や不動産等を時価評価した資産から、ご契約にかかわる各種負債等を差し引いたものであり、保険会社の健全性の状況を示す行政監督上の指標の一つです。

平成25年度上半期末の実質純資産額は6兆293億円(前年度末差887億円増)で、一般勘定資産に対する比率は18.7%となりました。

■ 実質純資産額の推移



含み損益 (一般勘定資産全体)

3兆1,941億円

堅実な資産内容で3兆円を上回る含み益を確保しています。

含み損益とは、保有している資産の時価と帳簿価額との差額を指し、保険会社の企業体力を表わすものの一つです。平成25年度上半期末は、一般勘定資産全体で3兆1,941億円(前年度末差1,514億円減)の含み益を確保しています。

**国内株式含み損益ゼロ水準
7,600円程度**

平成25年度上半期末における当社が保有する株式の含み損益がゼロとなる水準は、日経平均株価で7,600円程度となっています。

*仮に当社ポートフォリオが日経平均株価にフル連動するとした場合

(平成25年度上半期末)

一般勘定資産全体の含み損益	3兆1,941億円
うち時価のある有価証券*1	2兆9,239億円
うち公社債	9,704億円
うち株式	1兆5,055億円
うち外国証券	4,179億円
うち土地*2	2,598億円

*1 有価証券には、金融商品取引法上の有価証券として取り扱うことが適当と認められるもの等を含んでいます。

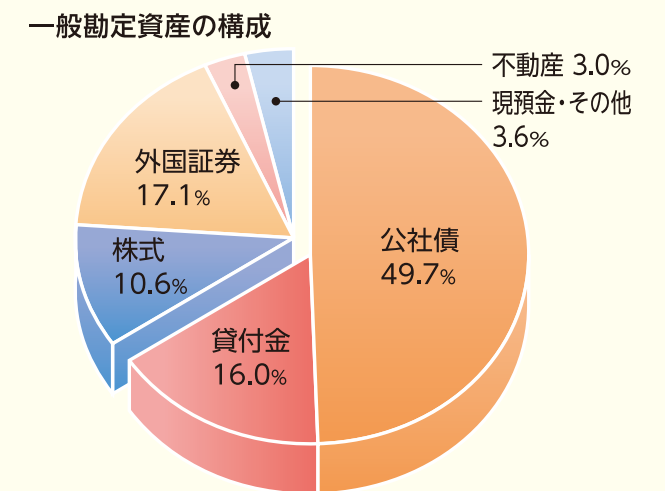
*2 土地には借地権を含んでいます。

資産の構成

長期・安定的な収益を確保するため、公社債や貸付金などを中心に運用しています。

運用にあたっては、公社債や貸付金といった安定収益資産を中心に配分を行ない、お客さまへのお支払いに備えています。

引き続き、良好な運用成果の確保と資産健全性の維持・向上に努めていきます。



*貸借対照表計上額ベース (平成25年度上半期末)